

ハトワイヤー[®]

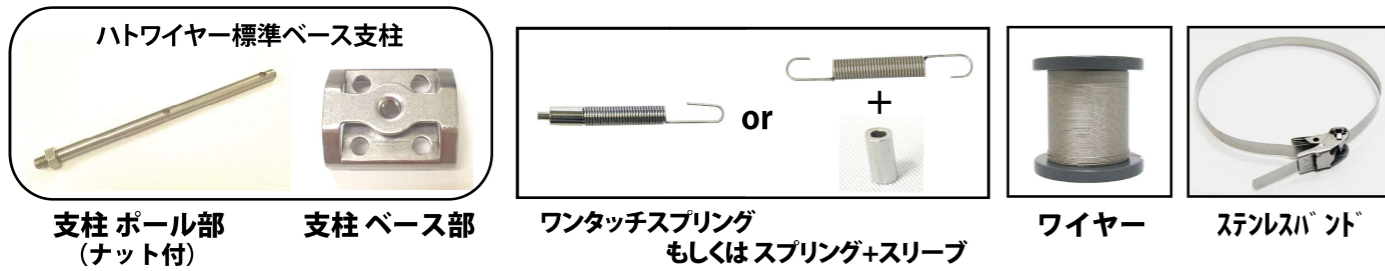
お取扱いの際のお願いと御注意

この度はハトワイヤーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
安全のため本書類を必ずお読みになり
設置作業を行ってください。

⚠ 注意

- 設置の前に必ず設置面をきれいに清掃して下さい。
清掃せずに設置するとゴミ等が挟まり、本製品がしっかり設置できない事があります。
- 本製品はビスもしくはステンレスバンドで設置します。現場に合ったビスやステンレスバンドを別途ご用意下さい。
- ステンレスワイヤーは絡まりやすく、また切断面等でケガをする危険性がありますので、施工の際は取り扱いに十分ご注意下さい。
- 本製品上に乗ったり物を載せたりしないで下さい。怪我や破損の原因となります。
- 鳥類飛来防止以外の目的ではご使用にならないで下さい。怪我や破損の原因となります。
- 万一落下した場合、人や他のものに被害を及ぶような場所には設置しないで下さい。
- 設備不良による落下事故等の責任は負いかねますので設置には十分ご注意下さい。
- 施工後もきちんと設置されているか、定期的に確認・メンテナンスをして下さい。
- 使用中に不都合が発生した場合は直ちに使用を中止して下さい。

ハトワイヤー 標準ベースセット 設置方法



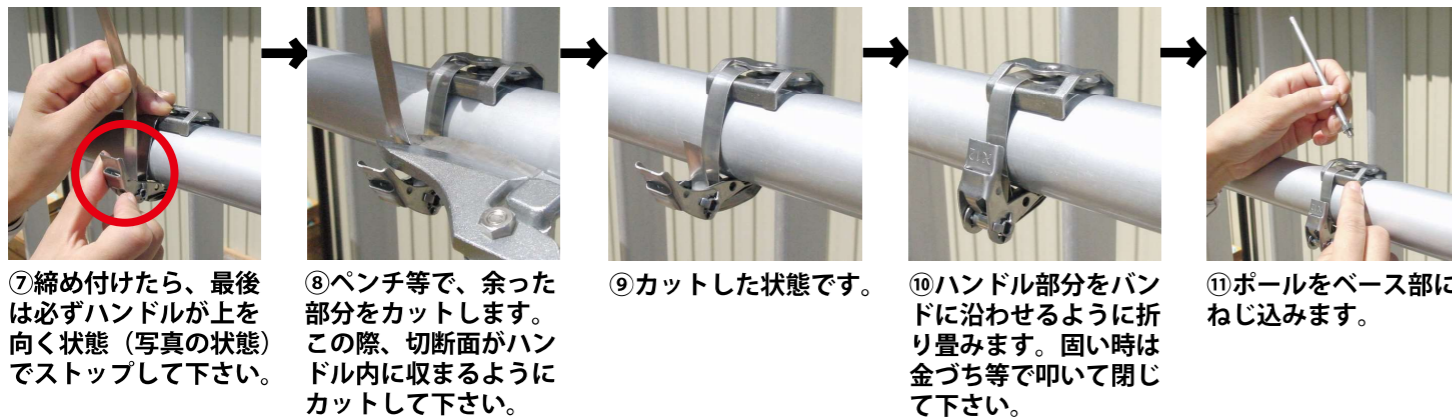
【注意点】
ここでは手すり等への設置を想定し、「ステンレスバンド」を使用した設置方法のみご案内しています。ビスで設置する際は別途現場に合ったビス等をご用意いただき、その使用方法に従って設置して下さい。

【設置方法 ~支柱の立て方~】

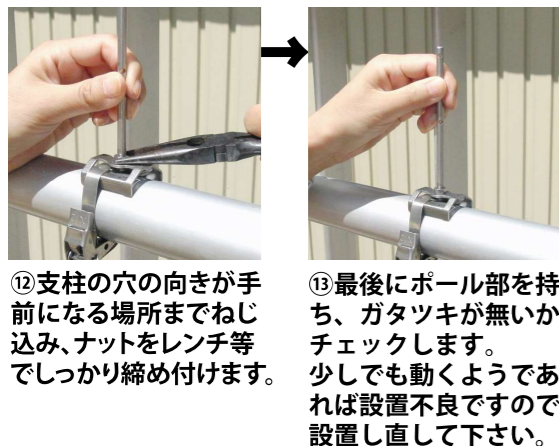
①まず、設置場所をきれいに清掃して下さい。※ゴミ等が残っていると、きちんと設置できない原因になります。



②支柱ベース部を持ち、最初の支柱を設置する場所を決めます。
③ステンレスバンドを支柱ベース部に通します。この時、ワイヤーを向かって右側に張っていく場合はベース部左寄りに、ワイヤーを向かって左側に張っていく場合はベース部右寄りにバンドを掛けます。※中央ネジ部分は空けて下さい。
④パイプに巻きつけてバンドのハンドル部のスリットに先端を差し込みます。※別紙「ステンレスバンド使用方法」も合わせてお読みください。
⑤パイプの太さに合わせてある程度までバンドを引っ張ります。
⑥ハンドル部を上下に往復させる事でバンドが巻き取られ、強く締め付ける事ができます。



⑦締め付けたら、最後は必ずハンドルが上を向く状態（写真の状態）でストップして下さい。
⑧ペンチ等で、余った部分をカットします。この際、切断面がハンドル内に収まるようにカットして下さい。
⑨カットした状態です。
⑩ハンドル部分をバンドに沿わせるように折り畳みます。固い時は金づち等で叩いて閉じて下さい。
⑪ポールをベース部にねじ込みます。



⑫支柱の穴の向きが手前になる場所までねじ込み、ナットをレンチ等でしっかり締め付けます。
⑬最後にポール部を持ち、ガタツキが無いかチェックします。少しでも動くようであれば設置不良ですので設置し直して下さい。

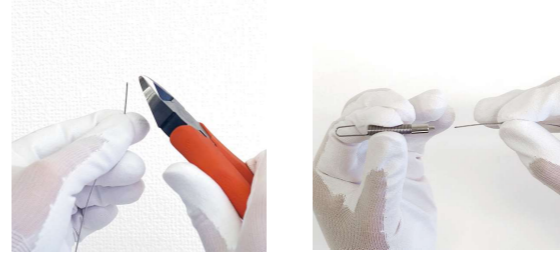
ビス

平面に

◆ビスで設置する際は別途現場に合ったビス等をご用意いただき、その使用方法に従って設置して下さい。
※対角に2箇所打って下さい。

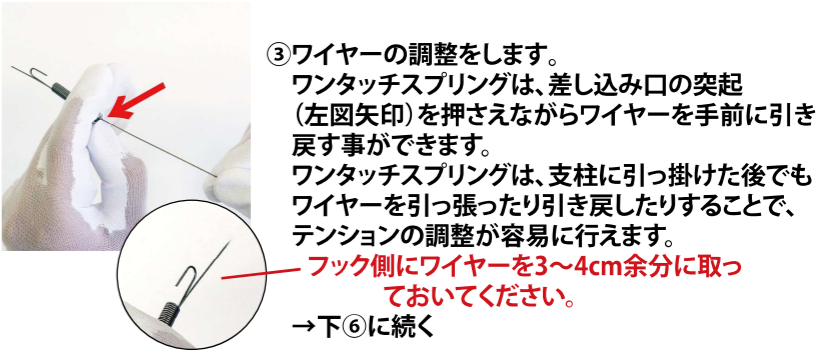
【設置方法 ~ワイヤーの張り方~】

●ワンタッチスプリングを使用する場合



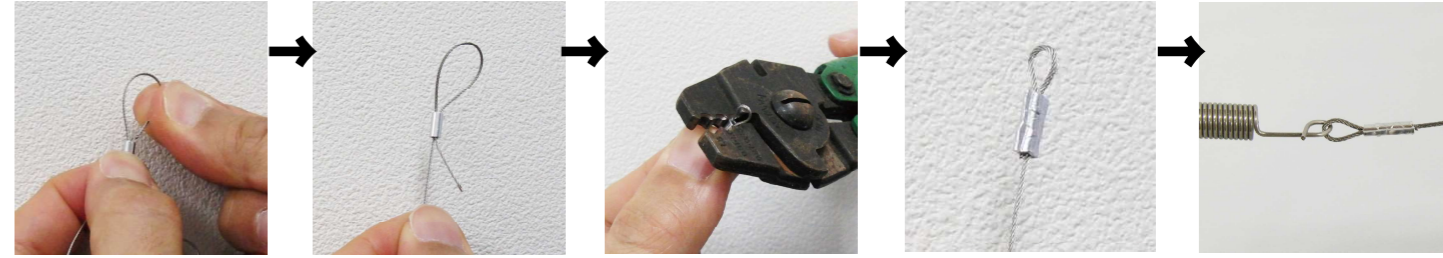
①少し余裕を持ってワイヤー先端をカットします。
②ワンタッチスプリングにワイヤーを通します。

★ワイヤーを張るポイント★
ワイヤーは強すぎず、弱すぎず、適度なハリ感で張って下さい。

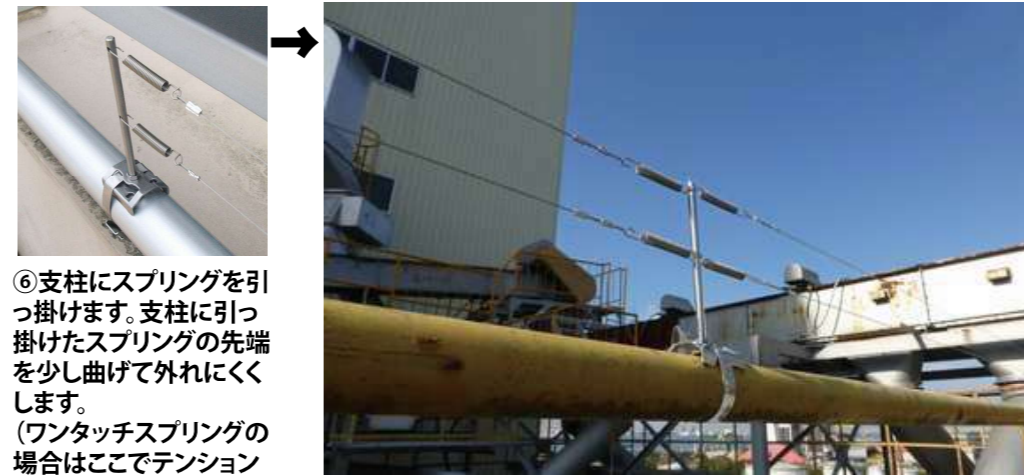


③ワイヤーの調整をします。ワンタッチスプリングは、差し込み口の突起（左図矢印）を押さえながらワイヤーを手前に引き戻す事ができます。ワンタッチスプリングは、支柱に引っ付けた後もワイヤーを引っ張ったり引き戻したりすることで、テンションの調整が容易に行えます。
フック側にワイヤーを3~4cm余分に取っておいてください。
→下⑥に続く

●通常のスプリング+スリーブを使用する場合



①ワイヤーの先端をスリーブに通して輪を作り、輪を作った状態です。
②輪を作った状態です。
③かしめ工具を使用してスリーブをしっかりと締めます。ワイヤーが抜けかないように強くかして下さい。
④かした状態です。
⑤④をスプリングに引っ掛けます。スプリングから外れないように、スプリングの先端を軽く折り曲げます。



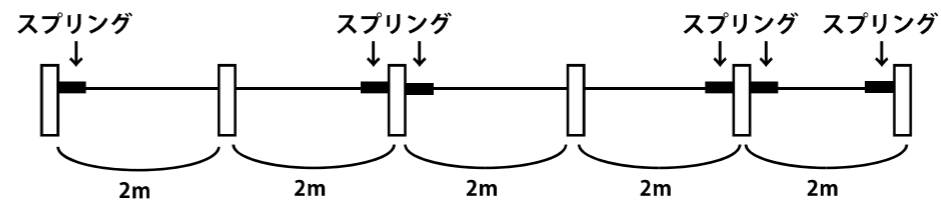
⑥支柱にスプリングを引っ掛けます。支柱に引っ掛けたスプリングの先端を少し曲げて外れにくくします。（ワンタッチスプリングの場合はここでテンションの調整が可能です）ワイヤーは絡まりやすいので、取り扱いは十分注意して下さい。

⑦2m間隔で支柱を立て、ワイヤーを張っていきます。スプリングは4mごとに使用して下さい。例えば4mの場所に支柱を3本使って設置する場合、中央の支柱は穴にワイヤーを通すだけで大丈夫です。ただし、L字型やコの字型にワイヤーを張っていく場合は、コーナー部分には必ずスプリングを使用して下さい。また、終端部の支柱にも必ずスプリングを使用して下さい。

10m 分の設置例

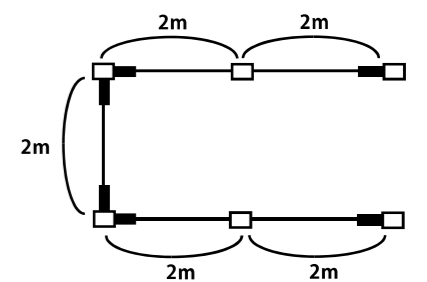
□…支柱 ■…スプリング —…ワイヤー

<一直線に設置する場合>



※終端部には必ずスプリングを使用

<コの字型に設置する場合>



※コーナー部と終端部には必ずスプリングを使用